

いぶすき 第24号

市議会だより

発行日
平成23年8月16日



《編集》議会広報委員会 《発行》指宿市議会 ☎ 0993(22)-2111(内線511・512)



就航したフェリーなんきゅう

【第2回定例会日程】

- 6月6日 本会議
会期の決定
- 提出議案の提案理由説明
- 議案質疑及び一部審議
委員会付託
- 陳情の委員会付託
- 6月9日
総務水道委員会
- 6月10日
文教厚生委員会
- 6月13日
産業建設委員会
- 6月21日 本会議
一般質問
- 6月22日 本会議
一般質問
- 6月23日 本会議
一般質問
- 6月28日 本会議
各常任委員会の審査結果報告
及び審議
- 追加議案の審議
- 意見書案の審議
- 議員派遣の件

市政のことが聞きたい

《一般質問》

六月定例会で十四人の議員が市政の各方面にわたって質問を行いました。

掲載の内容は、主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。



なお、本会議の会議録は市議会事務局、山川・開聞庁舎、図書館及び市ホームページで閲覧できます。一般質問などの詳しい内容については会議録をご覧ください。

農業振興について



前田 猛議員

問 農地、農業用施設等の被害を防止するための海岸保全の整備状況はどうか。

答 岡見ヶ水戸ヶ峯で、防潮堤、消波ブロックを設置し、海岸保全に努めている。

問 九州新幹線全線開業で、農産物、特産物のPR活動は、どのように進めているのか。

答 JR九州との共催で、モニターツアーを実施し、農業体験や農産物の宣伝、販売等を組み入れている。

問 農産物を安定的に供給で

きる産地づくりの取組は。

答 消費者に安心・安全な農産物を届けられるよう、かごしまの農林水産物認証取得に向けた取組を進めている。

問 きめ細やかな営農指導体制の構築はいかに。

答 農業者の相談等に関係機関が迅速に指導、助言ができる体制を実現している。

安心・安全なまちづくりについて



中村 洋幸議員

問 各地域の避難施設は、安全に利用できる状態か。

答 災害の種類・規模等に応じ、災害対策本部で地域防

公有財産取得及び耕地事業について



大保 三郎議員

問 なのはな館の建物譲渡受け入れが、市の財政負担にならないか。

答 将来の施設解体・撤去の必要が生じた場合、県が別途協議し検討すると聞いています。

問 九月以降、なのはな館の広場利用はできるのか。

答 利用者のほとんどが指宿市民であるという状況から、県費で暫定利用を延長する予定はないとの回答だった。

問 土地は市有地で県に無償貸与しているのに、なぜ県にそこまで権限があるのか。

答 十月以降も県管理によって施設の開放をしていたかどうかようお願いしている。

問 農地・水・環境保全向上活動支援事業の今後は。

答 今後も事業継続に向けて、県や他市町村と連携をとり、国へ要望していく。

その他の質問事項

○有害鳥獣捕獲事業について

て
○危機管理について

中国胶南市との友好都市盟約について



柳田賢次議員

問 通常、姉妹盟約を結ぶ場合、いろいろなきっかけを基に第一歩を踏み出す訳で、歴史的背景・経済交流や文化交流・スポーツ交流、これらを基に子供たちや学校・青年会議所や各種産業間の交流を通し、市民レベルでお互いが相手のことをよく知り、気運が高まってこそ行うものであると思う。市民のほとんどがその場所・産業構造・政治思想・名前すら知らない、言わばまったく情報がなく、市長も初めて訪問した胶南市で、仮調印済みのことだが、拙速過ぎると思わないか。

答 これまで市が締結した姉妹都市盟約の流れとは異なり、先に盟約を結んで交流を進めた方がスムーズにいくだろうと思っている。今後、産業面で大きな成長が見込まれると判断したので、友好都市として適切である。

その他の質問事項

○なのはな館問題について

安心・安全な生活のために



高田チヨ子議員

問 本市が想定している災害は、どんなことがあるか。

答 台風時の暴風災害、豪雨災害、地震、津波等による災害等八項目想定している。

問 開聞岳が爆発的噴火をした場合の避難方法や避難場所はどうなっているのか。

答 開聞岳が活火山であるという意識を持つとともに、災害予防や災害応急措置等の防災知識の普及徹底を図り、災害時には協力し合っで被害の軽減にあたる。また、避難所については、地域防災計画に基づき対応する。

問 被災者支援システムの導入について。

答 今後活用できるように、調査研究していく。

問 胃がん検診の中の、ペプシノゲン法導入について。

答 採血で済むので、医師会等と協議し鋭意進めていく。

電力供給不足及び畜産業の現状と課題について



田中 健一議員

問 原発事故の不安から、再稼働されないことによる、経済・農業への影響は。

答 九州電力からの節電目標は無いが、農業を初め、市民生活に影響がある。

問 節電対策と市民への周知、市内の公共施設等の自然エネルギーへの取組は。

答 市では新たに節電マニュアルを導入し、市民への周知は、七月の広報紙に掲載する。自然エネルギー導入は、今後検討する。

問 畜産業の課題である、昨年の口蹄疫や震災の影響、生肉等の食中毒関係の、今後の対策は。

答 関係機関・生産者一体となって、口蹄疫の防疫対策を推進する。生肉と飲食店の指導は、衛生管理指導を徹底する。畜産業への支援事業は、改良の必要性はあるが、市政は厳しいので、国へ今後も機会を捉えて要請する。

障害児の学童保育及び安心・安全な防災行政について



六反園 弘議員

問 指宿市には障害児の学童保育がないが、その必要性について、どう考えるか。

答 障害のある子どもが友達をつくることの大切さ、そして、様々な経験や体験を通して豊かな成長を保障すると共に、母親の就業保障をする観点からも、年齢や障害の程度、また、発達段階に応じて安心・安全で楽しく活動できる場、多くの人と関わりが持てる場が必要である。

問 指宿市にとって安心・安全な防災施策の課題とは。

答 災害から身を守るためには、早目の避難が大切であり、そのために、安全な避難場所・安全な経路・避難の時期の三つが重要である。指宿市の防災施策としては、ハザードマップと防災無線の整備が課題である。



安心・安全なまちづくりについて



前之園正和議員

問 今回の震災からの教訓及び原発からの撤退と、自然エネルギーへの転換について、市長の考えや地域防災計画見直しの考えはどうか。

答 想定外というものでは済まされない。脱原発、自然エネルギーの導入は社会の流れであり、私も考え方を異にするものではない。地域防災計画は見直しが必要である。標高表示を地図にして配布することや、避難施設の安全点検を行い必要な改修をしたり、液状化のハザードマップも策定したい。

問 今回、市民への緊急連絡がつかなかったところがあつたのではないか。防災無線の整備を急ぐべきではないか。

答 連絡がつかなかったところがあった。防災無線は、できるなら来年度から着工し、早いうちに終えるようにしたい。

その他の質問事項
○住宅リフォーム助成制度創設について

財政再建、浸水対策、医療費及び高齢者の健康づくりについて



新川床金春議員

問 随意契約を二者以上の見合せに見直した結果どうなっているのか。

答 委託費で六件、概ね千七百五十万円の削減に繋がった。

問 豪雨時の湧口周辺地区の浸水対策はどうなっているのか。

答 新潟口ポンプ場は、平成二十八年完成を目指している。

問 国民健康保険特別会計は、歳出が膨らみ、平成二十二年度歳入不足額を前年度繰上充用金で手当てしているが、今後の国保特別会計はどうなるのか。

答 国による抜本的な改革がない限り、非常に厳しい状況が続く。

問 元氣な高齢者の健康づくり・生きがいづくり対策として、スマート・ウェルネス・シティ構想を計画しているが、どのように取り組むのか。

防災行政及び産業振興について



浜田 藤幸議員

答 自ら健康づくりをするよ
うなまちをつくり、医療費
の削減を図り、お年寄りが
元気でいられるまちをつく
りたい。

問 安価で、利便性の高いM
CA無線システムの導入を
すべきではないか。

答 有効性が理解できるので、
比較検討を行い、基本構想
を策定する。

問 想定した被害予測をしな
ければ、防災計画は立てら
れないと思うが、見解は。

答 国と県が見直しを行い、
それとの整合性を図り、地
域防災計画を作っていく。

問 要援護者に対する避難支
援のマニュアルは作ってあ
るか。

答 要援護者の把握に努め、
消防団や関係機関等との協
力の下、避難の支援にあた
る。

問 かいもん山麓ふれあい公
園の現在の取組は。

答 登山証明書の販売、そ
の出張販売等を行い、ホー
ムページを作成し、公園全
体の魅力を市内外に大いに
情報発信していく。



ふれあい公園内の「親水池」

なのはな館及び防災対策について



森 時徳議員

問 なのはな館の暫定使用の
延長と今後の方向性につい
て。

答 芝生広場の暫定使用は、
県費では期間延長できない
とのことだったが、引き続
き県管理により、施設を利
用できるように要請している。
市独自による運営管理は、

現有施設等のままでは一億
円ぐらいの赤字が見込まれ
ることから、直接運営は難
しいと判断している。しか
し、周辺地域や市の発展に
重要な所であり、有効活用
するため、民間運営の二回
目の公募を県と協議してい
る。

問 防災と液状化対策は。

答 今回の震災を踏まえて、
地震や津波予測調査を、関
係機関と連携で対策を講じ
ることが重要である。液状
化についての、住宅地対策
は進んでいない。国で液状
化防止基準や宅地造成規制
法を対策として盛り込む方
向とのことなので、市とし
ても調査研究しながら対応
したい。

その他の質問事項

○山川・根占フェリーにつ
いて

危機管理、地上デジタル放送及び住宅用火災警報器の取付けについて



高橋 三樹議員

問 防災行政無線の今後の取
組について。

答 各種システムの比較検討
を行い、平成二十四年度予
算編成の前には調査を終え

たい。
問 今和泉小学校は海拔五
メートル、もし津波が発生
した時の避難場所は。

答 指商の校舎を第一避難場
所とし、場合によっては、
海拔二十五メートルの第二
グラウンドも考えている。

問 地上デジタル放送につい
ての、高齢者対策は。

答 民生委員の皆さんへ関係
情報の提供をお願いし、デ
ジサポ鹿児島と連携して対
処している。

問 住宅用火災警報器の普及
率を上げる対策は。

答 広報紙等で繰返し周知す
るとともに、消防職員・消
防団員・市政事務嘱託員等
の協力を得ながら進めてい
る。

学校施設の活用及び指宿市の災害対策について



前原 六則議員

問 学校ホームページの意義
と、その活用推進をどの様
に考えているか。

答 意義は、公開を通して地
域に開かれた学校と、更新
する事で、学校の出来事や

行事・ニュースを電子媒体
の記録に残すとともに、児
童・生徒が学校の良さや魅
力の発見・発掘することに
繋がる。また、保護者や母
校の先輩方と交流する契機
ができ、併せて、学校や郷
土への愛着や誇りを醸成し
ていくことになる。今後、
各学校が日常的にホーム
ページの更新がなされるよ
うに、体制を整えていきた
い。

問 指宿小学校での津波避難
経路として考えられる、郵
便局裏高台への階段の狭さ
の把握・改善等に、各部署
を横断した対策を考える必
要があると思うが。

答 避難所・避難経路の点検
については、その様に進め
たい。



指宿北郵便局から裏高台への避難路

国際交流協会の設置、スポーツ合宿所の設置及び指宿商業高校について



下川床 泉議員

問 海外の都市との交流の中心になる国際交流協会の設置は考えないか。

答 国際交流の重要性に鑑み、観光特急がっくく国際交流推進実行委員会を設置した。

問 スポーツ少年団や中・高校生が合宿する場合、ホテル・旅館・民宿と協議し、例えば、三千五百円を自己負担として、その額を超える差額を市の助成とする考えはないか。

答 厳しい財政状況や、一般の観光客との均衡などで、助成は非常に厳しい。

問 指宿商業高校の部活動やサークル活動で、観光についての講座・中国語講座・韓国語講座を開設できないか。

答 商業科目のビジネス基礎、国際ビジネスやマーケティングの授業で、中国語や韓国語の会話能力の基礎を学ばせ、日常会話ができる人材育成を、目指そうと考えている。

審議された主なことごと

平成二十三年六月定例会では、繰越明許費にかかる報告案件二件、専決処分承認を求めた案件五件、契約に関する案件一件、平成二十三年年度一般会計補正予算に関する案件二件、人事に関する案件二件、その他の案件一件の計十三件が審議されました。

一般会計補正予算

予算総額 203億680万8千円

今回の補正により、一般会計の歳入・歳出にそれぞれ一億八千九百八十八万八千円が追加され、予算の総額は二百三億六千八百八十八万八千円となりました。

○園芸施設等(ハウス・畜舎)雪害復旧対策事業費
4,606万6千円

○公債費

8,400万円

船舶(ぶーげんびりあ)の売払代金の完納に伴う、資金として借入れていた県市町村振興資金の繰上償還金です。

○児童福祉費

500万5千円

地域子育て創生事業として、ベビーシートの設置、子育てサポーター養成事業等の六事業に係る事業費です。

○コミュニティ助成事業助成金

410万円

コミュニティ助成事業助成金の決定に伴う、自治公民館等に対する補助金です。

事業内容
・音響設備等整備
・迫北自治公民館
・福元区自治会
・空調設備等整備
・大園原自治公民館

可決された主な条例

○指宿市国民健康保険税条例(一部改正)

中低所得者の国民健康保険税の負担の軽減を図るため、国民健康保険税の課税限度額を見直すため、所要の改正をしようとするものです。

改正の内容
①基礎課税額に係る医療分の課税限度額を、現行の五十万円から五十一万円に引き上げるものです。
②後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を、現行の十三万円から十四万円に引き上げるものです。
③介護納付金課税額に係る課税限度額を、現行の十万円から十二万円に引き上げるものです。

北指宿中学校体育館改築工事請負契約議案に同意

北指宿中学校体育館改築工事は、条件付一般競争入札により落札され、この請負契約議案に同意しました。

概要
・鉄筋コンクリート造二階建て
・延べ床面積 1,518㎡
・契約金額 三億四千二百三十万円
・工期 平成二十四年二月末まで



人権擁護委員

候補者の推薦

指宿地域の現委員であり、また中園伸宏氏が平成二十三年九月三十日で任期満了となることから、同氏を引き続き委員候補とし、また、平成二十五年十二月三十一日までの任期である現委員が、一身上の都合により辞任の意向であることから、後任として今村新作氏を委員候補として、法務大臣に推薦することがいづれも同意されました。



請願・陳情審議結果

六月定例会では、新たに提出された陳情一件及び継続審査となっていた請願一件と陳情二件の計四件が所管の常任委員会で審査され、本会議で審議されました。内容については、次のとおりです。

採択された陳情

・陳情第一号

「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱に基づく新たな保育制度を撤回し、現行保育制度の堅持・拡充を求める陳情書」

付託委員会 文教厚生委員会

・陳情第二号

「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書」

付託委員会 文教厚生委員会

・陳情第三号

「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について」

付託委員会 文教厚生委員会

閉会中の継続審査となった請願

・請願第一号

「(仮)定住促進住宅の建設を推進することを求める請願書」

可決された意見書

六月定例会において、次の意見書を本会議で可決し、各関係機関へ送付しました。

・意見書第二号

「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書」

▽提出先

内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
厚生労働大臣
文部科学大臣
鹿児島県知事

・意見書第三号

「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書」

▽提出先

内閣総理大臣
総務大臣
内閣府特命担当大臣
財務大臣
文部科学大臣
内閣官房長官



・意見書第四号

「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱に関する意見書」

▽提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
厚生労働大臣
文部科学大臣
内閣官房長官
内閣府特命担当大臣

議員表彰

第八十七回全国市議会議長会において、本市より二十年勤続表彰として下川床泉議員が、十年勤続表彰として中村洋幸議員が、表彰されました。



市町村政研修会に参加

去る八月五日、鹿児島市の鹿児島市民文化ホールで行われた市町村政研修会に指宿市議員も参加しました。

研修会では、「国家の危機管理―巨大地震が浮き彫りにした課題と展望」と題して、国際政治・軍事アナリスト 小川和久氏の講演と、「震災復興と日本経済再生の処方せん」と題して、同志社大学大学院ビジネス研究科教授 浜矩子氏の講演が行われました。指宿市議会では、今後もこのような研修会には積極的に参加し、研鑽に努めてまいります。

お詫びと訂正

いぶすき市議会だより第23号の5頁中、主な事業内容の金額に誤りがありました。お詫びして訂正します。

誤 既設公営住宅改善事業 3億4,000万円

正 既設公営住宅改善事業 3,400万円

平成23年第2回定例会に付議された議案審議結果一覧

議案番号	件名	審議結果
報告第1号	平成22年度指宿市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—
報告第2号	平成22年度指宿市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—
第34号	平成22年度指宿市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）の専決処分の承認を求めることについて	承認
第35号	平成23年度指宿市一般会計補正予算（第1号）の専決処分の承認を求めることについて	承認
第36号	平成23年度指宿市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認を求めることについて	承認
第37号	指宿市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認
第38号	指宿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認
第39号	北指宿中学校体育館改築工事（建築本体）請負契約について	同意
第40号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
第41号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
第42号	指宿市過疎地域自立促進計画の一部変更について	原案可決
第43号	平成23年度指宿市一般会計補正予算（第2号）について	原案可決
第44号	平成23年度指宿市一般会計補正予算（第3号）について	原案可決

平成23年第1回臨時会に付議された議案審議結果一覧

議案番号	件名	審議結果
第45号	財産の交換について	原案可決
第46号	平成23年度指宿市一般会計補正予算（第4号）について	原案可決

*** 議会日程(予定)のご案内 ***

平成23年第3回定例会（9月議会）が下記のとおり予定されています。

招集・議案上程	8月30日（火）
一般質問	9月16日（金）・20日（火）・21日（水）
委員長報告・表決	9月27日（火）

※本会議は午前10時から開催される予定です。
 日程等は変更することがありますので、傍聴の際には予めお問い合わせください。
 TEL 22-2111（内線511・512）



広報委員長 六反園 弘

東日本の被災地では、復興を目指す人々が異臭漂う瓦礫と闘っています。福島県では、原発事故の放射能汚染の為に家があっても自分の家に帰れない人々が居ます。
 三月十一日の東日本大震災発生から四か月以上も過ぎた真夏の猛暑の中で、十万人近い人々が、避難所や転居先で不自由な生活をしています。
 六月議会の一般質問に立った十四名の議員のうち十一名が防災対策を質問しました。
 大震災の教訓から、指宿市の防災について多方面から指摘があり、市民の願う安全なまちづくりが議論されました。

編集後記